

## 平成29年度 第1回ちがさき自転車プラン推進委員会 会議録

議題	<p>(1) 第2次ちがさき自転車プランの中間評価について</p> <p>(2) 自転車利用による健康づくり</p> <p>(3) サイクルアンドバスライド（小中島、新田入口）アンケート結果について</p>
日時	平成30年2月13日（火） 10時00分から12時00分
場所	市役所分庁舎5階 特別会議室
出席者氏名	<p>（委員） ※計15名</p> <p>齊藤 進、古倉 宗治、田野 敏明、新谷 雅之、平本 善昭、益田 和子、林 申次、小野江 達人、下江 晴治、竹中 尊男、福田 三朗、本田 弘巳、三橋 博、仲手川 仁志、牧野 末次</p> <p>（欠席委員）</p> <p>藤澤 努、山上 著、佐藤 たゆ子、小俣 晴俊、露木 輝久</p> <p>（事務局）</p> <p>理事兼都市部長 大野木 英夫</p> <p>都市政策課 課 長 関野 達夫</p> <p style="padding-left: 40px;">課長補佐 山本 卓也</p> <p style="padding-left: 40px;">主 査 山崎 哲</p> <p style="padding-left: 40px;">主 任 山形 冬樹</p> <p>安全対策課 課長補佐 大八木 元</p> <p style="padding-left: 40px;">主 事 大川 諒</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>委員名簿</p> <p>資料1-1 第2次ちがさき自転車プランの中間評価について</p> <p>資料1-2 自転車利用に関するアンケート調査票（案）</p>

	資料2 資料3 資料4-1 資料4-2 資料4-3 資料5	自転車利用による健康づくり サイクルアンドバスライド（小中島、新田入口）アンケート結果について 第2次ちがさき自転車プランの事業進捗状況 自転車走行空間の整備状況 柳島スポーツ公園でのサイクルステーション設置について シェアサイクル事業の検討状況
会議の公開・非公開	公開	
非公開の理由		
傍聴者数	1名	

（会議の概要）

### 1 開会

### 2 委員の交代について

- 柏崎委員に代わり、茅ヶ崎市老人クラブ連合会 下江氏が委嘱を受けた。
- 磯嶋委員に代わり、東日本旅客鉄道株式会社横浜支社 仲手川氏が委嘱を受けた。

### 3 議題

#### （1）第2次ちがさき自転車プランの中間評価について

資料1-1をもとに、事務局より第2次ちがさき自転車プランの中間評価について提案し、了承を得た。

資料1-2のアンケート内容については、平成30年3月末までにご意見をいただくこととした。

また、内容について質疑応答、意見交換を行った。

#### （2）自転車利用による健康づくり

資料2をもとに、事務局より自転車利用による健康づくりの取り組みについて提案し、了承を得た。

また、内容について質疑応答、意見交換を行った。

#### （3）サイクルアンドバスライド（小中島、新田入口）アンケート結果について

資料3をもとに、事務局よりサイクルアンドバスライド（小中島、新田入口）アンケート結果について説明を行った。

小中島、新田入口のサイクルアンドバスライドについて、今後本格運用に向けて進めていくことについて了承を得た。

#### 4 報告

##### (1) 第2次ちがさき自転車プランの事業進捗状況

資料4-1、4-2、4-3をもとに、事務局より第2次ちがさき自転車プランの事業進捗状況について報告。

また、内容について質疑応答、意見交換を行った。

##### (2) シェアサイクル事業の検討状況

資料5をもとに、事務局よりシェアサイクル事業の検討状況について報告。

また、内容について質疑応答、意見交換を行った。

#### 5 その他

- 次回（次年度）は5月頃の開催を予定。

#### 6 閉会

○事務局（関野課長）

定刻になりましたので、平成 29 年度 第 1 回ちがさき自転車プラン推進委員会を開催いたします。

私、都市政策課長の関野でございます。よろしくお願いいたします。

また、車でお越しの方は減免の手続きをしますのでお帰りの際は職員にお申し付けください。

本日は傍聴人の方がいらっしゃいます。委員会の内容については、原則公開となっておりますが、傍聴人の方はご発言できませんのでよろしくお願いいたします。

はじめに、本日、平成 30 年 2 月 13 日より、3 名の委員の方が代わられておりますのでご紹介いたします。順番に一言ご挨拶をお願いします。

<新任委員 あいさつ>

○関野課長

ありがとうございます。もう一名、茅ヶ崎青年会議所の藤澤 努様がいらっしゃいますが、まだお見えになられていないので、お見えになられましたらご紹介したいと思います。

それでは、会議資料について、確認させていただきます。

次第、委員名簿、資料 1-1：第 2 次ちがさき自転車プランの中間評価について、資料 1-2：自転車利用に関するアンケート調査票（案）、資料 2：自転車利用による健康づくり、資料 3：サイクルアンドバスライド（小中島、新田入口）アンケート結果について、資料 4-1：第 2 次ちがさき自転車プランの事業進捗状況、資料 4-2：自転車走行空間の整備状況、資料 4-3：柳島スポーツ公園でのサイクルステーション設置について、資料 5：シェアサイクル事業の検討状況

ご確認はよろしいでしょうか。

次に本日の会議の出欠席について 20 名の委員のうち、藤澤努様、山上著様、佐藤たろ子様、小俣晴俊様、露木輝久様が欠席で、出席者が 15 名でございます。従いまして、ちがさき自転車プラン推進委員会規則第 5 条 2 項の規定により、過半数を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告いたします

それでは、次第に従いまして議題に入ります。規則に従い、これより、斉藤委員長に進行をお願いいたします。

○斉藤委員長

おはようございます。よろしくお願いいたします。

次第をご覧いただきたいと思います。

本日は、議題が3点、報告が2点あります。会議は次第に従って進めていきたいと思ひます。

始めに議題（1）第2次ちがさき自転車プランの中間評価について、進めさせていただきます。

事務局より説明をお願いします。

○事務局（山形主任）

<資料1-1、1-2に基づいて説明>

○斉藤委員長

中間評価について、プランが平成26年4月に策定され、計画期間が10年間ということで、平成30年度がちょうど中間年度になるので中間評価を行いたいという趣旨です。具体的には、アンケート等によりプランに位置付けられている指標に対しての達成度を確認し、中間評価を実施するものです。

全体的なスケジュールや中間評価の方法についてご意見があればよろしくをお願いします。

○古倉委員

前のアンケートと比較するものと、新たに追加するものについて、事務局側でどのように考えているのか。それによって意見の出し方も変わってくると思ひます。

例えば、問3. 年齢で、年齢そのもので回答してもらおうとクロス集計をする時や統計的にみるときに非常にやりやすいので、年齢を直接記載してもらった方がよいと思ひます。問8. 日常的な「移動」が少し硬い言葉なので「外出」という表現にしてはどうでしょうか。なるべく回答していただくために硬い言葉ではなく、表現を少し柔らかくした方がよいのではないのでしょうか。そういう表現上の問題となるべく回収率を上げるために問はなるべく少なくした方がよいと思ひます。赤で囲んである成果指標や総合指標になっている問については、あまり変えない方がよいと思ひます。すべてここで言い切れないので、意見を出せる点について、後ほど連絡申し上げたいと思ひます。

○事務局（山本課長補佐）

事務局よりお答えします。

資料1-2のアンケートは、平成25年度に委員会の中でみなさんにご協力いただきながら作ったものです。古倉委員からの年齢そのものを答えてもらおうといったご意見に関しては、変更しても平成25年度のアンケート結果と比較することができますので、柔軟に対応していてもよいと思ひています。先ほどの説明でもありましたが、継続性の観点から、基本的には資料1-2のアンケート内容を基本として実施していきたいと思ひていま

す。来年度の1回目の委員会で、どのような形でアンケートを行うのかを示したいと思えます。基本的には指標に関わるころはなかなか変えにくいころではありますが、その他の点については一定程度の柔軟性があっても良いのではないかと考えております。

○斉藤委員長

ありがとうございました。

設問の赤枠の問は前回との比較をしたいということで、前回と同じような表現にしたいと思えますし、年齢のことや「移動」という言葉を「外出」に替える等の言葉をわかりやすくするか、後での集計をしやすい方法にするということによろしいですよ。このような方向でやっていきますのでお気づきの点があればご指摘をいただきたいと思えます。

アンケートの内容について、今すぐというのは中々難しいと思えますので、いつごろまでに事務局に回答すればよろしいでしょうか。

○事務局（山本課長補佐）

今年度末までに、随時事務局の方にお声掛けいただければと思えますので、よろしく願います。

○斉藤委員長

今年度末までという話なので、3月末まで内容を確認していただければと思えます。よろしく願います。

○古倉委員

平成29年5月1日に自転車活用推進法が施行されましたが、その法律の中に14項目の基本方針が記載されています。その14項目のうちどの施策を重点に推進していくべきかを項目を整理してアンケートで聞いても良いと思えます。

○斉藤委員長

国が策定中である自転車活用推進計画との整合を図りながら今後も検討していくよう、よろしく願います。

○本田委員

P.7の問.25,26の回答の選択（思う、思わない、どちらでもない、わからない）だけが他の設問の回答とちょっと違うのではないかと思えます。例えば問.23の回答の仕方ですと（思う、やや思う、どちらともいえない、やや思わない、思わない）となっています。問.25,26もこの流れで良いのではないのでしょうか。

○事務局（山本課長補佐）

ご意見ありがとうございます。精査いたします。

○斉藤委員長

何か意図はあったんですか。

○事務局（山本課長補佐）

H25年度に前回のアンケートを行ったのですが、その時も議論していただきながら決めてきた経緯がありますので、そのあたりを紐解きながら検討していきたいと思います。ご指摘のように答えやすさや全体の流れを見ながら決めていければと思います。

○斉藤委員長

その他はいかがでしょうか。

それでは議題（2）です。事務局の方からご説明いただきたいと思います。

○事務局（山形主任）

<資料2に基づき説明>

○斉藤委員長

自転車の活用と健康づくりということで、プランの中で暮らしを楽しむ仕組みづくりという大きなテーマがありましたが、みなさんからそれに関して健康づくりに役立つ自転車利用促進をとという意見がありました。それらを踏まえて、具体的に重点的に事業として展開していったらどうだろうかということで、具体的には自転車利用に関する健康づくりのキャンペーンを行ったらどうかという内容でした。

背景としてはP.2の新聞記事で茅ヶ崎市が取り上げられているということがあります。内容について、ご意見ご感想等がありましたらよろしくをお願いします。

○平本委員

今お話しいただきました自転車活用推進法の中に国民の健康増進が記載されているとのことでしたが、「環境」という項目の記載もあるのでしょうか？

○事務局（山本課長補佐）

自転車活用推進法の中には、基本理念の中に環境に関する記載もございます。自転車の環境面でのメリットを活かして推進していくというものがあります。当然こういった場を活用しながら啓発していくこともできますのでご相談させていただきたいと思います。よ

ろしくお願いいたします。

○古倉委員

健康増進という切り口で自転車を買物目的に活用するということが、私が知る限りではこのような取り組みは日本で初めてではないかと思えます。キャンペーン時のアンケート項目については今後検討かと思えますが、アンケートの中で自転車に乗る頻度と健康状態についても無理のない範囲で聞けたらと思っています。自転車王国といわれている宇都宮でのアンケートをした際には、自転車で買い物に来られるの方が、自動車よりも1回あたりの購入金額は少ないが、来店頻度が多いため、1週間あたりの購入金額が高いという結果が出ております。そういう結果が今回茅ヶ崎でも出るとさらに買物目的の自転車利用促進につながるかなと思えます。

○林委員

平成30年2月10日号の週刊現代の記事で茅ヶ崎では老衰で亡くなる人が多いという記事が出ております。記事にも老衰でなくなる方が多い理由として自転車利用が影響しているのではないかと記載されています。

○益田委員

大変すばらしい事業になると良いなと思えます。アクション22でも以前からこのようなことができる良いと思っていました。今回は健康づくりということを目的としてこのようなキャンペーンを実施ということですが、イオンさんの場所が飯島交差点の目の前で、安全啓発というテーマも併せてできると良いと思えます。ヴェロフェスティバルのときに自転車での飯島交差点の渡り方について質問された方がいらっしゃいました。飯島交差点が歩車分離式の交差点になったときは、警察の方と連携し安全啓発活動を実施していましたが、まだまだ交差点の渡り方が徹底できていないと思えますので、このような機会に警察と連携して取り組むことによって効果的な運動ができるのではないかと思います。

○斉藤委員長

ありがとうございます。重要なことかと思えます。

○事務局（山本課長補佐）

想定している時期としては5月の自転車月間です。設定した意図としてはできるだけ自転車に関するすそ野を広げて多くの方にご参加していただきたいです。アクション22の方々とは過去にヒヤリハットマップ作成の取り組みをやったことがありますので、色々な可能性が考えられると思えますので、もしご意見があれば事務局の方にいただきたいと思



います。ただ、場所をお借りしているという制約がありますので、そのあたりは本田委員と十分調整する必要があるとは思いますが、そのあたりをクリアした上で良い方向に繋がっていければと思います。

○斉藤委員長

是非検討の方をよろしくお願いします。

基本的には自転車利用による健康づくりが大きなテーマで、自転車月間にキャンペーンを実施していく方向で進めていきたいと思えます。

それでは議題の(3) サイクルアンドバスライドのアンケート結果についてです。説明をお願いします。

○事務局(山形主任)

<資料3に基づいて説明>

○斉藤委員長

サイクルアンドバスライドが市内8か所に設置されております。小中島、新田入口は社会実験中であることから、アンケート結果を踏まえて今後本格運用していきたいということでした。

○事務局(山本課長補佐)

補足ですが、新田入口・小中島の2か所についてご意見をいただきたいのですが、新田入口は国有地でありまして国の許可を得て社会実験として設置しております。利用実態及び今回の委員会でのご意見を踏まえて再度本格運用に向けて国と協議してまいりますので、そのあたりを踏まえたうえご意見を頂戴できればと思っています。

○益田委員

是非進めていっていただきたいです。新田は190%という需要があるということなので場所を拡大していただけるように国に働きかけ、協議を進めていってほしいです。既に設置されているサイクルアンドバスライドも評価が高いと思います。環境にも優しいし皆さんが自転車を茅ヶ崎の中心部まで持ってこなくて済むということに関して、このような形が進んでいくと街中でも自転車が乗りやすくなるということに繋がりますので推進していってほしいと思います。

○斉藤委員長

精力的に進めていただけるように検討していただきたいと思えます。

○事務局（山本課長補佐）

ありがとうございます。サイクルアンドバスライドの事業に関しては一次のプランの時に着手したもので、かなり定着してきておりますし、高い評価をいただいて今まで継続してこられたという事例です。アンケートの結果からわかるように、生活者の日常の手段としてサイクルアンドバスライドが入り込んでいると改めて感じました。またこの事業は神奈川中央交通株式会社様や自治会の皆様のご協力を得ることにより成果を上げながら進めてこられたものだと思いますので感謝しています。事務局としても維持するだけでなくより良い方向に進めていければと思います。

○斉藤委員長

サイクルアンドバスライドは環境に配慮したり、交通空白地帯を解消するということがありますし、公共交通の利用促進にも貢献しているということで非常にメリットがあると思います。土地所有者との調整もあると思いますが委員会としては是非本格運用していく方向で進めていただきたいという意見ですのでよろしくをお願いします。

○古倉委員

質問です。一つ目は、既存のサイクルアンドバスライドの①～⑥はどのような利用状況なのかということです。駐輪場としてただ自転車を置くスペースというのではなく、利用者を誘引するための仕掛けがあると良いと思います。一番いいのは屋根付きが良いと思いますがなかなか難しいことも理解しておりますので広報などを含めて今後検討していただきたいと思います。

○斉藤委員長

事業を進めていく上で、さらに良くしていく必要があるということだと思います。今後サイクルアンドバスライドがさらに定着していき、市民の方にも魅了があると思わせる取り組みを進めていただきたいと思います。

報告事項に入りたいと思います。

(1) 第2次ちがさき自転車プランの事業進捗状況についての説明をお願いします。

○事務局（大八木課長補佐、山形主任）

<資料4-1、4-2、4-3に基づいて説明>

○斉藤委員長

内容についての質問、情報提供などありますでしょうか。

○益田委員

資料4-2 自転車走行空間の整備状況で、説明いただいた黒は整備済みという話でした。過去にモデルケースとして法定外路面標示を設置した西浜高校前の左富士通りについては、資料でも整備済みとなっていますが、実際は当時貼り付けたものが今は取れてしまっているという現状でございます。高校の方からも何とかならないものかのご相談をもらっています。整備済みとなっているところでも現状を把握することが必要ではないかと思えます。

○事務局（山本課長補佐）

平成24年度に法定外路面標示有効活用社会実験を実施し、その時の路面表示が今でも左富士通りに残っているのですが、ステッカーを使用しており、5年ほど経過しておりますので、表面がはがれたり薄くなったりしており、本来の目的である自転車利用者とドライバーに自転車の走行位置を示すという効果が薄まってきてしまっているという認識があります。平成24年当時は、どのような表示が認識しやすいのかということでいくつかのパターンで敷設されているわけですが、現状は幹線道路維持保全計画の中の自転車ネットワーク計画の中で路面標示のパターンが決められているので、全面的にいつできるか現段階ではお話はできないのですが、部分補修も含め今後対応してまいりたいと考えております。他の路線も含めて黒の整備済みの路線で同様のケースが出てきたときは庁内の各関係部署と連携し取り組んでいきたいと思えます。

○斉藤委員長

ご指摘の部分についてうまく対応していただきたいと思います。

○林委員

情報提供です。2/7にまちぢから協議会で先ほどお話の合った宇都宮市の方にお邪魔しました。自転車に関する色々な先進的な話を聞いてまいりました。宇都宮市ではレンタサイクルに関するマップを作られているようです。市内に自転車の駅を作り、各コンビニ等に自転車修理用の工具や空気入れ、スポーツバイク用ラックを設置し、市内に51箇所あるそうです。宇都宮は年に1度ジャパンカップを開催しているので、自転車に関する認識が高いのかと思えます。サイクルステーションも設置しているようで、そこで情報提供や休憩ができるようです。レンタサイクルの台数は177台あるそうです。そのうち55台が電動アシスト自転車で、利用料金一日100円、電動の場合は300円です。自転車はシルバー人材センターが点検整備をしています。このような状況の話を伺ってきたので参考までに情報提供させていただきました。

○斉藤委員長

茅ヶ崎でもレンタサイクルは行っていますが、改善できる場所があれば参考にしてい

ただきたいと思います。

○古倉委員

2点ほどあります。1点目は、ヒヤリハットマップの作成イベントについては良い取り組みだと思えます。せっかくですのでデータを集積して危険箇所の多い地点のランキングを作成し公表したり、路線ごとにヒヤリハットの回数を集計し、注意を促したりと、市民に情報提供できるようなデータベースにしたら参考になるのではと思えます。市の方にお願ひできたらと思えます。そして、例えばいろいろな講習会でこの地図やデータ等を使って具体的に示すことは有効ではないでしょうか。2点目は、走行空間について予算の問題はあると思えますが、整備前後でできれば車・自転車の利用者にアンケートを取ることで整備の効果を示すと良いと思えます。

○益田委員

アクションではヒヤリハットマップ作成イベントはヴェロフェスティバルの時にも毎年やっていてデータは貯めていますが、これらを集計する所までには至っていません。今後行政のみなさんと協力して示すことができれば色々な場面で活用できるのかと思えます。

○斉藤委員長

貴重なデータだと思えますのでお忙しいと思えますが、検討していただければと思えます。2つ目の利用者アンケートを行うということについてはいかがでしょうか。

○事務局（山本課長補佐）

細街路や交差点への路面標示設置なども今後の検討事項としてありますので、その中で、アンケート等を踏まえながらうまく組み立てられればと思っています。

○斉藤委員長

このような意見を踏まえて進めていただければと思えます。

最後に報告（2）シェアサイクル事業の検討状況をお願いします。

○事務局（山形主任）

<資料5に基づいて説明>

○新谷委員

4ページの貸出データのグラフですが、平成29年度の8月が貸出がすごく落ちています。これは今年の8月の天気が悪かったことが影響しており天気にかかなり左右されること

がわかります。ただし、全体的には順調に PR 出来ており伸びていると思います。

○古倉委員

3 ページ目の画面はスマホでないと見られないのでしょうか？スマホを持っていない高齢者の方も観光で茅ヶ崎市を訪れると思うので、そのような方に対して観光案内所でパソコン画面等にてご案内ができるの良いと思うのですが。

○新谷委員

レンタサイクルの事業をやるにあたり、ターゲットを絞ったと思います。ある程度スマホを持っている方を対象にやっているの、今後ターゲットを広げてやるとすると新たな対応が必要かと思います。また商店会連合会でも立派なパンフレットも作成しているので、そちらを見ていただければどこで借りられるかはわかると思います。

○斉藤委員長

とりあえず最初は対象を限定して始めたので、可能であれば対象を広げていくということによろしいでしょうか。

○新谷委員

今後年配の方を対象に考えるとすると、電動アシスト付自転車を取り入れることも考えないといけないかなと思います。

○斉藤委員長

今後、可能であれば対象を広げていくということによろしいでしょうか。

○田野委員

既存のレンタサイクルと柳島スポーツ公園サイクルステーションの話がありましたが、両者の関連はあるのでしょうか。全く別の考え方でしょうか。

○事務局（山本課長補佐）

柳島スポーツ公園は、運営会社にてサイクルステーションを実施予定ですが、レンタサイクルについてはスポーツバイクを対象にしているという話を聞いております。運営会社としての取り組みになりますので、正確にはそちらから関連情報が発表されるのではないかと思います。

○斉藤委員長

以上で予定されている議論・報告は終了です。

○事務局（山本課長補佐）

本日いただいた意見を引き続き連絡調整させていただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

次回の会議は5月ごろ開催予定です。日程が決まり次第正式にご案内申し上げますのでよろしくお願いします。

○斉藤委員長

これで会議は終了します。

会長署名

---

委員署名

---